

(別紙様式08-2)

福島第一原発事故に関わる放射線・放射能測定メタデータベースの構築  
Meta-database of radiation monitoring data for Fukushima-Daiichi Reactor Accident

伊藤好孝、東京大学・宇宙線研究所

本研究では、2011年に起こった福島第一原発事故について行われた、さまざまな放射測定データのメタ情報をまとめたメタデータベースRADARC311の整備と運用を行っている。本年度は、これまで独立のPC 2台で運用してきたデータベース検索システムについて、宇宙地球環境研究所の共通計算機への移設を行うために、最新のOSに対応するための修正を含むソフトウェアのアップデート作業を行った。2025年11月にアップデート作業の確認後、新システムにおいてメタデータベースの追加・更新作業を行い、メタデータ更新が正常に動作することも確認し、新システムへの切り替えを行った。これらのアップデート作業により、今後数年間は引き続き本メタデータベースが運用できる目処がたった。

また、本メタデータ検索システムを転用した、文理融合型のメタデータベースの構築についての議論を始めている。超学際ネットワークの活動の一環として、名大が所蔵する科学史資料のデジタルアーカイブ化が進められており、これらのメタデータ情報の検索、公開システムとして活用することを検討している。



図上) 11月5日に新システムに切り替えられた、放射線測定メタデータベース検索システム RADARC311 のウェブ画面。